

人と社会と地球に喜ばれる企業をめざして—



CSR

報告書 2017



澤藤電機株式会社

SAWAFUJI ELECTRIC CO.,LTD.

CSR 報告書 2017

発行にあたって

澤藤電機グループは、持続可能な社会の実現に向けて事業活動を通してCSR活動に取り組んでいます。

お客様、地域社会、株主・投資家様、社員をはじめとした幅広いステークホルダーの皆様に適切な情報開示を行い、CSR活動をご理解いただくためのコミュニケーションツールとして「CSR報告書」を発行しています。

本CSR報告書は、トップメッセージ、基本理念、CSRへの取り組み、マネジメント、経済、社会、環境について、その活動内容を記載しております。

また、発行形態につきましては、澤藤電機ホームページに全体版(日本語)、ダイジェスト版(日本語、英語)をPDFで掲載しています。印刷冊子はダイジェスト版(日本語、英語)として発行いたしました。

対象範囲・期間など

澤藤電機グループ(澤藤電機株式会社および国内・海外の連結対象子会社)を対象範囲としてご報告いたします。

環境保全活動の報告については、澤藤電機の本社・新田工場内での取り組みについてのご報告となっております。

本報告書の対象期間は、2016年度です。一部前後も含まれます。

報告期間中における主要な変更事項

該当事項はありません。

発行年および次回発行予定

CSR報告書は毎年の発行予定となっております。

今回の発行 2017年 8月

次回の発行予定 2018年 8月

参考としたガイドライン

環境省「環境報告ガイドライン(2012年版)」

GRI「サステナビリティ・リポーティング・ガイドライン」

ISO26000「社会的責任に関する手引き」

バックナンバー

CSR報告書2016	2016年 8月
CSR報告書2015	2015年 8月
CSR報告書2014	2014年 8月
CSR報告書2013	2013年 8月
CSR報告書2012	2012年 8月
CSR報告書2011	2011年 7月
CSR報告書2010	2010年 7月
CSR報告書2009	2009年10月
環境・社会報告書2008	2008年 8月
環境報告書2007	2008年 1月
環境報告書2006	2006年 9月
環境報告書2005	2004年12月
環境報告書2003	2003年10月

目次

トップメッセージ	2
基本理念	3
SAWAFUJI VISION	3
CSRへの取り組み	4

特集

日本品質奨励賞 TQM 奨励賞受賞	6
-------------------	---

トピックス

新技術 岐阜大学と澤藤電機の共同開発成果を プレス発表	8
--------------------------------	---

ステークホルダーとの対話

地域住民との対話ほか	8
------------	---

マネジメント

コーポレート・ガバナンス	9
コンプライアンス	10
情報セキュリティ	10
リスク管理	11
事業継続計画(BCP)に向けた取り組み	12

経済性報告

経済性報告について	13
澤藤電機グループの概要	13
業績報告	14
営業形態および主な取引先	14
主要製品	15

社会性報告

お客様とともに	16
地域社会とともに	18
株主・投資家様とともに	20
代理店・特約店様とともに	20
仕入先様とともに	21
社員とともに	22

環境報告

環境方針	26
環境マネジメント	26
製品開発における環境取り組み	30
生産活動における環境取り組み	32
物流活動における環境取り組み	34
環境コミュニケーション活動	34
生物多様性	35
環境データ	36

トップメッセージ

澤藤電機グループは、世界のお客様の期待に応えた製品・サービスを提供し、真摯にCSR活動に取り組み、企業としての社会的責任を果たしていきます。

澤藤電機は、1934年の創立から実直なモノづくりに徹して世界のお客様の期待に応えた製品・サービスを提供してまいりました。

現在は、電装品、発電機、冷蔵庫の3つの事業を柱とし、国内をはじめ海外100カ国余のお客様に製品・サービスを提供しております。

社会から信頼される企業をめざして

経営理念である「澤藤電機は良い商品を作り、企業としての社会的責任を果たし、関係する全ての人に栄えを与える」のもとに、グローバルな観点でステークホルダーとのコミュニケーションを図ることはもとより、企業倫理向上、コンプライアンス、内部統制体制の充実、安全・防災活動を含むリスク管理の徹底、環境保全、製品の安全、顧客満足、株主重視、社会貢献などを通して責任を果たし、社会から信頼される企業をめざしていきます。

環境への取り組み

持続可能な社会づくりの一つとして、環境への取り組みも不可欠です。澤藤電機は、1997年に環境マネジメントシステムを構築して、全事業の商品および生産活動における環境負荷低減を重要課題として継続的な改善に取り組んでいます。

次世代につながる社会づくりを推進

昨今の澤藤電機グループを取り巻く経営環境は、国内では企業収益や雇用、所得環境に改善がみられるなど、緩やかな回復が続きました。また、海外経済は、米国では回復基調が続き、欧州では緩やかな回復がみられ、中国をはじめとするアジア新興国等でも景気の持ち直しの動きがみられました。しかし、その一方で英国のEU離脱問題や米国新政権の経済政策などにより、不透明感が依然として残る状況の中で推移いたしました。澤藤電機グループは、このような経済環境の中、中期経営方針を掲げ、体質改善と競争力強化を全社一丸となって図り、次世代につながる会社づくりを推進していきます。

このようにCSR活動を真摯に全社一体となって取り組むことによって、澤藤電機の企業価値の増大を図ってまいります。

社会的責任に関しては、国際的なガイドランスであるISO26000に沿った体制を整備して活動しております。

澤藤電機のCSRの取り組みに対し、より多くの皆様方のご意見をいただき、新たな課題としていきたいと考えております。どうか忌憚のないご意見をお寄せいただけますようお願い申し上げます。



2017年8月
澤藤電機株式会社
代表取締役社長

吉川 昭彦